

「人権の学び」をサポートします！！

人権について「学び」を重ねることはとても大切なことです。学びを重ねることの一部を三同教が支援します。あなたが「よりよく生きるために」そして「幸せになるように」三同教のサポート事業をご活用ください。

人権の学習グループをつくってみませんか？

結

人権の自主学习グループ 支援サポート事業

人権にかかる自主学习グループの学習経費（講師料、バスレンタル料、交通費、印刷代、消耗品代、入館料、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。
※グループの登録申請が必要です。

◎人権学習や視察研修等のご相談は、市人権推進課（4面上）までお気軽にご連絡ください。

講師をまねいて、人権学習をしませんか？

がく

人権学習 支援サポート事業

各組織、団体、地域、PTA、企業等の人権に関する学習の経費（講師料、交通費、印刷代、消耗品代、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。

あ い

視察研修 支援サポート事業

各組織、団体、地域、PTA、企業等で人権に関する施設等の視察・交流学习の経費（バスレンタル料、交通費、通行料、入館料など）の半額（上限3万円）を補助します。

※いずれのサポートも、飲食費用は対象になりません。

「学びの蔵」～ビデオを見て人権研修！～

人権推進課では、企業や団体等の人権研修に活用するために、啓発ビデオをそろえています。詳しくは平成26年度発行視聴覚教材一覧「学びの蔵」をご覧ください。活用希望の方は、人権推進課までお申し出ください。

「のじぎく文芸賞」作品募集 締切 9月10日(水)

兵庫県と公益財団法人兵庫県人権啓発協会では、人権の大切さや思いやり、支え合うことの素晴らしさなど、人権文化の創造や人権課題の解決に関する内容が描かれた文芸作品〔小説、随想（手記・作文）、詩、創作童話〕を募集しています。兵庫県内在住、在勤、在学の人で、インターネット上を含む未発表・未投稿の自作の作品に限ります。※字数制限があります
問い合わせ＝（公財）兵庫県人権啓発協会（078-242-5355）



「中学生の親になって」

中野 雅也さん ゆりのき台中学校教職員

娘の思いがけない言葉

「学校なんて行きたくない」
わが子の口からこんな言葉が出たとき、不覚にもうろたえてしまいました。
娘は中学二年生。最も難しい年頃で、特に父親とは素直に話ができない時期だということは頭ではわかっています。ところが、実際に娘を前にしたとき、どのように接したらよいのか、正直に言ってしまうと迷いがありました。そんなときにこの言葉を聞かされて、どう対応したらよいのか、とつきにはわからなくなってしまうたのです。

気づけなかつたわたし

娘が、部活動にも家庭学習にもいつも全力で取り組んでいることを、わたし自身としては褒めるように心がけているつもりでした。応援にもできるだけ行き、授業参観や行事のたびに学校へ行って、娘の様子をきちんと把握できていると思っていました。担任の先生からは「よく頑張っていますよ」と言っていたので、妻とともに喜んでいました。

もちろん、仲間との関係がうまくいかないこともあれば、勉強に身が入らないこともありました。でも、次の日にはケロッとして登校するし、家に帰ってくれば何事もなかったように笑って話をしてくれる。「うちの子に限って」と思い込んでいたのです。

親であるわたしや妻の気づかないうちに、娘の心の中に何かやりきれない気持ちも積もり積もっていたなんて……。涙をこぼす娘を目の前にして、自分自身がいかに無力であるかを痛感しました。

教師として親として

中学校の教員としてたくさん生徒たちを教えることがわたくしですが、毎日子どもたちを送り出してくださる保護者の皆さんそれぞれに、このような子育ての上での悩みがあるのだらうということ、これまで意識したことがありませんでした。また、それぞれの子どもたちも、言葉では言い表せないような悩みを抱えているであろうという

その後の娘

「学校で何かあったのか」「友達関係がうまくいっていないのか」親が聞いてみても、これといった原因に思い当たらなかつた娘でしたが、ある日、部活動の仲間との間でのざこざがあると言いました。これを聞いて、それまでは「自分に負けたらアカン」と言っていたわたしと妻ですが、何とか解決してやりたい、できれば自分の力で解決してほしいと思いました。

こんなときに親ができることはアドバイスだけです。「自分が理想とするグループの姿を、自分の言葉で訴えなさい」妻もわたしと同じようなことを言いました。力を得た娘は、学校で仲間と話合おうことができたのです。帰宅してから、「みんな泣いて、いっしょに頑張るって決めた」と嬉しそうに話してくれました。

それからは気持ちも晴れ、また楽しく毎日登校しています。きつと今後もいろいろな試練があることでしょう。でも、仲間とともに充実した一年間を送り、無事に進路を決定してほしいと思います。

